



2008年7月23日

国際ロータリー第2790地区  
ロータリークラブ 各 位

国際ロータリー第2790地区  
ガバナー 崎 山 征 雄  
インターアクト委員会  
委員長 石 橋 菊 太 郎

## 第42回インターアクト年次大会 開催のご案内

謹啓 盛夏の候 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます  
平素はインターアクトクラブの活動にご理解ご高配を賜り厚く御礼申し上げます  
さて 本年度も下記の通り第42回インターアクト年次大会を下記の通り開催いたします  
つきましては ご多用のこととは存じますが 多くの皆様のご登録ご参加をお願い申し上げます  
何卒ご協力ご来援いただけますようご案内方々ご挨拶申し上げます申し上げます

敬 白

### ◆ 記 ◆

日	時	2008年（平成20年）8月27日（水）	
		午前9時30分より受付	
会	場	文理開成高等学校	
		鴨川市横渚815	電話 04-7092-0267
テ	ー	マ	「子供の権利と世界の人権状況」
登	録	料	
		ロータリクラブ会員	2,000円
		一 般	2,000円
		顧 問 教 師	1,000円
		高 校 生 以 下	1,000円
主	催	国際ロータリー第2790地区インターアクト委員会	
		千葉県高等学校文化連盟 インターアクト部会	
ホ	ス	ト	校
ス	ポ	ン	サ
協	賛	ク	ラ
			ブ
		鴨川ロータリークラブ	
		：館山RC・松戸RC・茂原RC・東金RC・成田RC・大原RC	
		勝浦RC・千倉RC・新千葉RC・八街RC・木更津東RC	
		千葉西RC・四街道RC・市原中央RC・市原RC	

※ 登録用紙にご記入の上 2008年8月6日までにお申し込みください

※ お振込みは8月8日までをお願い申し上げます

年 月 日

国際ロータリー第2790地区インターアクト委員会  
藤崎泰裕(千葉西ロータリークラブ) 行

FAX 043-232-8299

## 第42回インターアクト年次大会登録用紙

貴 ク ラ ブ 名		ロータリークラブ		
1	フリガナ		役 職 名	参観希望分野
	お 名 前			
2	フリガナ		役 職 名	参観希望分野
	お 名 前			
3	フリガナ		役 職 名	参観希望分野
	お 名 前			
4	フリガナ		役 職 名	参観希望分野
	お 名 前			
5	フリガナ		役 職 名	参観希望分野
	お 名 前			
6	フリガナ		役 職 名	参観希望分野
	お 名 前			
7	フリガナ		役 職 名	参観希望分野
	お 名 前			
8	フリガナ		役 職 名	参観希望分野
	お 名 前			
9	フリガナ		役 職 名	参観希望分野
	お 名 前			
10	フリガナ		役 職 名	参観希望分野
	お 名 前			

※ 午後の部は参観希望分野(テーマ番号)をご記入ください 10名様以上の場合は用紙をコピーしてご使用ください

登録料	ロータリクラブ会員	2,000円	×人数	人	計	円
	一 般	2,000円	×人数	人	計	円
	顧 問 教 師	1,000円	×人数	人	計	円
	高 校 生 以 下	1,000円	×人数	人	計	円

合 計	円
-----	---

上記の金額を振り込みましたのでご確認ください

振込先 銀行名：千葉銀行 大原支店  
口座名：第2790地区インターアクト委員会 会計 平野一隆  
口座番号：普通預金 3302873

※ 誠に申し訳ございませんが 8月8日までに振込みをお願い申し上げます

※ お問い合わせ先 国際ロータリー第2790地区インターアクト委員会  
会計 平野一隆(大原RC) 携帯 090-3095-8037



# 第42回インターアクト年次大会

■開催日 2008年8月27日（水）

■会場 鴨川市 文理開成高等学校

■スケジュール

7:52	JR蘇我駅	→	9:15	JR安房鴨川駅
8:17	JR千葉駅	→	10:18	JR安房鴨川駅
9:30	受付開始		司会進行	文理開成高等学校
10:00	点鐘			文理開成高等学校
	開会の言葉			文理開成高等学校
	国歌斉唱			
	インターアクトソング斉唱			
	来賓・役員・参加クラブ紹介			文理開成高等学校
	歓迎の言葉			文理開成高等学校
	大会挨拶			国際ロータリー第2790地区 ガバナー 千葉県高等学校文化連盟IA専門部会 部会長 文理開成高等学校
10:30	閉会の言葉			
	諸事連絡			
	休憩			
10:45	記念講演		社団法人アムネスティ・インターナショナル 日本事務局長 寺中 誠 氏 講演テーマ 「日本の国際協力」	
11:45	移動			
12:00	昼食			
12:45	移動			
12:55	分野別体験学習		子ども兵士 児童労働 難民ゲーム 現地派遣医療	
14:10	移動			
14:20	体験報告			
14:40	開会の言葉			文理開成高等学校
	大会感想			国際ロータリー第2790地区 ガバナーエレクト
	次年度インターアクト地区代表指名			
	次年度年次大会ホスト校指名			
	次年度年次大会スポンサークラブ指名			
	次年度インターアクト地区代表挨拶			
	次年度年次大会ホスト校挨拶			
	次年度年次大会スポンサークラブ挨拶			
	閉会の言葉			文理開成高等学校
15:10	点鐘			文理開成高等学校
	諸事連絡			
15:32	JR安房鴨川駅	→	17:00	JR蘇我駅
15:53	JR安房鴨川駅	→	18:02	JR千葉駅

みんなで止めよう温暖化  
 CO<sup>2</sup>削減にご協力ください  
 ご来場は公共交通機関をご利用ください  
 お車でご来場の際は 市営芝浜駐車場をご利用ください  
 (JR安房鴨川駅海側 鴨川市民会館前 前原海水浴場隣接)  
 また ご来場の節はクールビズにてお願いいたします

## 第42回インターアクト年次大会

日時：2008年8月27日（水）9:30より受付

会場：鴨川市 文理開成高等学校

登録料：ロータリークラブ会員 2,000円

一般 2,000円

顧問教師 1,000円

高校生以下 1,000円

（提唱ロータリークラブは協賛金として20,000円を別途お振込ください）

### 午前の部 記念講演

テーマ：「日本の国際協力」

今回の講演の中心のテーマは、貧困と人権、子どもの権利条約、権利基盤アプローチの概要から、児童労働や子ども兵士がいかに子どもの権利を侵害しているものであるか、またこの問題が日本にすむ私たちにいかに関係をしているのか、こういった問題の解決にできる日本の国際協力とは何か、という流れになるかと思います。この講演内容については、その後のワークショップへの連動、連携を考え、アムネスティの活動については軽く触れるのみの予定です。講演の内容を、ピース・ウィンズやMDMへも繋がっていくように考えています。

講師：寺中 誠 氏 社団法人アムネスティ・インターナショナル日本事務局長

兵庫県出身。早稲田大学法学研究科博士後期課程単位取得。犯罪学理論、刑事政策論を専攻。2001年から現職。東京経済大学非常勤講師。共著に「平和・人権・NGO」（新評論）、「外国人包囲網」（現代人文社）、「国際NGOが世界を変える」（東信堂）、「入門国際刑事裁判所」（現代人文社）などがある。

### 午後の部 分野別体験学習

テーマ：「子どもの権利条約」（子ども兵士編）

ウガンダの子ども兵士のビデオを見た後で、子ども兵士の実態についての説明

Aの「未来をみんなに」の子ども兵士の部分を放映します。5～6名の班に分かれる。子ども兵士が子どもの権利条約の何条に違反をしているのかを話し合う。またその理由を考えていく。それぞれのグループが話しあったことを発表していく。（感想もまじえて、各班2～3分で発表）Aの子ども兵士への取り組みを説明。高校生の自分たちでもできることを説明

講師：谷口玲子 氏 アムネスティ・インターナショナル日本職員

テーマ：「子どもの権利条約」（児童労働編）

児童労働についてのビデオを見た後で、児童労働の実態についての説明NHKBS1今日の世界「児童労働ゼロへの挑戦」の一部を放映します。4・5～6名の班に分かれる。児童労働が子どもの権利条約の何条に違反をしているのかを話し合う。またその理由を考えていく。それぞれのグループが話しあったことを発表していく。（感想もまじえて、各班2～3分で発表）Aの児童労働への取り組みを説明。高校生の自分たちでもできることを説明

講師：

テーマ：「難民ゲーム」

4-6人くらいで1家族とします。その中で父親、母親、子供（複数）、おばあさん、おじいさんなどの役割を決めます。各家族にはトランク2つと通常の生活に使われる物を38ヶ配ります。トランクはA4サイズくらいのダンボール。38ヶのアイテムは2-3cm四方の紙にアイテムが書かれてある（たとえば、財布、TVなど）自分達が住んでいる地域で内紛が起き殺し合いが発生している。或いは、隣国から何らかの理由で侵略があった、などで避難をすることになった。避難先は政府が用意したでかい船でより安全な場所に行くことになった。避難に際して1家族2ヶのトランクに10ヶずつのアイテムを詰めて1時間以内に港まで行けと指令がだされた。やっと港にたどり着いたら余りにも乗船する人間の数が多いので2つのトランクを1つにしると命令がでた。1ヶのトランクに15アイテム。乗船が始まり、船が出港した。しかし、混雑した船の中でさっそく娘が熱を出した・・・さあ、どうする・・・やっとの思いで船が安全な国についた。ここで、税関検査があることがわかり入国検査が始まった。しかしパスポートを持参してこなかった家族は入国ができない・・・さあ、どうする・・・やっとなりて避難先の難民キャンプまでであることに。おばあさんが足に怪我をしてしまった・・・さあ、どうしよう・・・途中で食事が始まった。持参したもので食事を取る。でも、缶詰を持ってきたのに缶きりが無い・・・さあ、どうしよう・・・このようにして、やっと2日後に難民キャンプにたどり着いた。途中の状況設定は如何様にも作ることはできます。このゲーム自体の時間は20-30分くらいでいいと思いますがその後各グループに短い発表（反省）をしてもらいます。日ごろの我々の生活の延長線上でしか考えられないような物を避難先に持っていかうことに質問を投げかけます。たとえば、TVやゲームを持っていったグループにその使い道や電気もないのにどうするのか、難民キャンプで化粧をする必要があるのか、などなど。要は、「生きていくための必需品って何なんだろう・・・」と真剣に考えてもらうことにより、自分達の生活でいかに無駄なものを買って、無駄なことをしているのか、また世界中に何千万人という難民、避難民の大変さを少しでも理解してもらう、というのがこのゲームのねらいです。

講師：高橋 郁 氏 ピース・ウィンズ 国内事業部

根本 哲（あきら） 氏 ピース・ウィンズ・ジャパン・コア・ボランティア

テーマ：「現地派遣医療」

映像（20分）による活動紹介、口頭での活動紹介（20分）、ボランティア医師による実体験の報告（30分）、質疑応答（10分）と考えております。

対象は生徒20-30人

講師：熊野 優 氏 MDM 広報マネージャー

森岡大地 医師 日本橋形成外科院長

午後の部で参観希望分野がありましたら 申込用紙にテーマの番号をご記入ください 全てを観覧することも出来ます